重要保管 本紙では、お買い上げいただいた製品についての仕様を記載しております。
ご覧いただいた後も大切に保管してください。

本製品をお買い求めのお客様へ

◎型名･型番について

このたびは本製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品は VW770/LG をベースに企画されたモデルです。
本製品に添付のマニュアル等では型名･型番を下記の通り読み替えてください。

	マニュアル等での表記	本 製 品
型 名	VW770/LG	VW770/LG3E
型 番	PC-VW770LG	PC-VW770LG3E

◎添付品について

本製品では、添付品が一部変更されています。
添付のマニュアル類をご覧になる際には、以下に示す添付品の変更がありますので、ご注意願います。

■追加された添付品

･FeliCa ポート
･カードホルダー

◎本体仕様一覧ついて

添付のマニュアル『準備と設定』－付録－「仕様一覧」の項目は、次のように読み替えてご覧ください。

		マニュアルでの記載	本 製 品
型 名		VW770/LG	VW770/LG3E
型 番		PC-VW770LG	PC-VW770LG3E
入力装置	キーボード	ワイヤレスキーボード (109 キーレイアウト準拠、 ワンタッチスタートボタン付き)	ワイヤレスキーボード ※19 ※20 ※21 (109 キーレイアウト準拠、 ワンタッチスタートボタン付き) (はっきりくっきりキーボード)
FeliCa ポート		－	FeliCaポート (外付け)(USB接続)

※19： 金属製の机の上などで使用した場合に、動作に影響することがあります。木製の机などの上でのご利用をおすすめします。
※20： キーボードの使用時間は連続使用で約 1000 時間です（ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります）。
※21： 使用可能な距離は約3m です（ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります）。

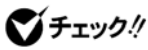
853-810924-056-A

810924056A

◎FeliCa ポートについて

FeliCa プラットフォームマークは本製品が FeliCa を利用したマルチアプリケーションプラットフォームに対応していることを表しています。

●FeliCa とは

非接触ICカード技術方式 "FeliCa" とは電子マネー、交通機関のプリペイドカード、各社のポイントカードなどで採用されているICカード規格のひとつです。
非接触型で、パソコンに内蔵されていたり接続されている「FeliCa ポート」、お店の FeliCa 読取装置、FeliCa 対応の改札機などにかざすだけで使えます。「FeliCa ポート」で使えるのは「FeliCa 対応カード」と「FeliCa 対応携帯電話」です。

チェック!!
- 本紙では「FeliCa カード」と「FeliCa 対応携帯電話」をあわせて「FeliCa 対応カード」と呼びます。
- 「FeliCa ポート」で利用可能な FeliCa 対応カードの種類については、次のホームページをご覧ください
  http://www.justsystem.co.jp/atlife/kazasu/card/
- 「FeliCa ポート」は無線機器の一種です。取り扱いの注意事項については、添付のマニュアル『安全にお使いいただくために』もあわせてご覧ください。
- 本機に搭載するFeliCaカード認証は、完全なセキュリティを保証するものではありません。

●「FeliCa ポート」利用上の注意

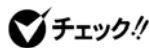
- 本製品は、日本国内での電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 本製品を分解、改造したり、型式番号を消したりすると法律により罰せられることがあります。
- 心臓ペースメーカー装置部位から30センチ以上離して使用してください。電波によりペースメーカーの作動に影響をあたえる場合があります。
- 医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品のポーリングをオフにしてください。
  ポーリングをオフにする設定については、電子マニュアル『サポートナビゲーター』-「使いこなす」ー「パソコンの機能」ー「FeliCa ポートを使う」ー「ポーリングのオン/オフを設定する」をご覧ください。

•パスワードの扱いにご注意ください

FeliCa 対応カードやおサイフケータイは、現金やクレジットカードなどと同等の価値を持っています。
サービスをご利用の際に必要となる暗証番号は、他人に知らされないように十分ご注意ください。
暗唱番号の不正使用により生じた損害については弊社では保証いたしかねます。

●FeliCa ポートの取り付け

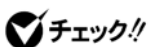
「FeliCa ポート」を接続すると、FeliCa 対応カードの情報を読み取ったり書き込んだりできます。

1 「FeliCa ポート」のプラグをパソコンの USB コネクタに取り付ける
「FeliCa ポート」は、パソコン本体の USB コネクタに取り付けてください。

- 市販の USB ハブなどに取り付けると正常に動作しないことがあります
- パソコン本体には USB コネクタが複数あります。どの USB コネクタに差し込んでもかまいません。

●FeliCa 対応カードを使う

1 FeliCa 対応カードのかざし方

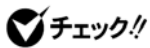
FeliCa 対応カードの中心を「FeliCa ポート」の「FeliCa プラットフォームマーク」に合わせて置きます。カードの表裏は問いませんが、携帯電話の場合は、FeliCa プラットフォームマークが付いている面と合わせて置いてください。

FeliCa 対応カードを「FeliCa ポート」にかざすと、FeliCa 対応ソフト「かざしてナビ」が表示されれます。

チェック!!
- カードは必ず1枚だけかざしてください。複数のカードを同時にかざすと、正しく読み取れません。
- 「FeliCa ポート」からはみ出す位置でカードをかざしたり、傾けた状態でカードをかざすと、正しく認識できないことがあります。
- 「FeliCa ポート」を置く机などの材料が金属の場合、「FeliCa ポート」が正常に動作しないことがあります。

2　「かざしてナビ」を使う

FeliCa対応カードやFeliCa対応携帯電話をかざしたときに自動的に表示される「かざしてナビ」の画面から対応するソフトを起動してください。

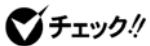
この画面から対応するソフトを起動してください。

チェック!!

・各ソフトについて詳しくは電子マニュアル「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」、または、各ソフトのヘルプをご覧ください。
・FeliCa対応カードをかざすタイミングは、ご使用になるソフトより異なります。ご使用になるソフトの画面表示を確認しながら操作してください。

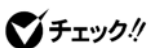
●「スクリーンセーバーロック2」について

スクリーンセーバーロック2を登録したが、登録したFeliCa対応カードや携帯電話、またはパスワードを両方なくしてしまったときは、次の方法でスクリーンセーバーを解除してください。

【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を1回押してください。Windowsログオン画面が表示された場合は、ログオン中のアカウントをクリックしてログオンしてください。ロックが解除されます。

チェック!!

・Windowsのログオンパスワードを要求された場合、パスワードを入力します。
・メニュー画面が表示された場合は、「ユーザーの切り替え」をクリックするとWindowsのログオン画面が表示されます。

ロックが解除されたら、スクリーンセーバーロック2に別のFeliCa対応カードや携帯電話と新しいパスワードを登録してください。

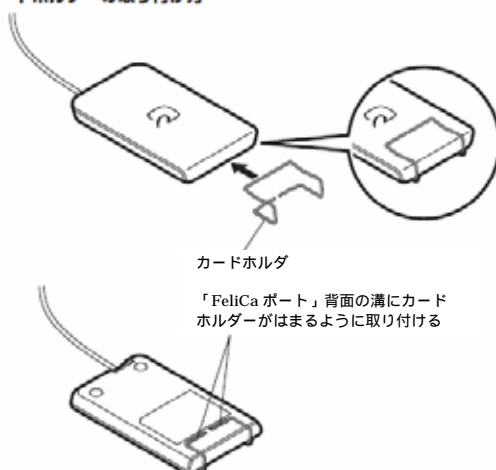
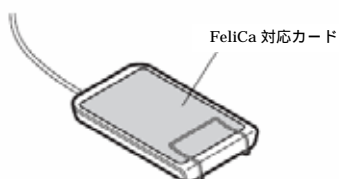
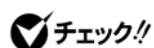
チェック!!

・上記の方法でのスクリーンセーバーロック2の解除はFeliCa対応カードや携帯電話、パスワードを必要としません。より安全にお使いいただくためには、Windowsログオンパスワードを設定し、ロック解除時にパスワードを入力するように設定することをおすすめします。
・手順の途中で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」をクリックしてください

1.「スタート」-「コントロールパネル」-「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」-「ユーザーアカウントの追加または削除」をクリック
2.「変更するアカウントを選択してください」欄で、パスワードを設定するアカウントをクリック
3.「パスワードの作成」をクリック
4.「新しいパスワード」欄と「新しいパスワードの確認」欄に新しく設定するパスワードを入力し、必要に応じて「パスワードのヒントの入力」を入力
5. パスワードを入力して、「パスワードの作成」をクリック
6. 画面右上の［×］をクリック
7.「スタート」-「コントロールパネル」-「デスクトップカスタマイズ」-「スクリーンセーバーの変更」をクリック
8.「再開時にログオン画面に戻る」の□をクリックして☑にする
9.「OK」をクリック

この設定をおこなうと、スクリーンセーバーのロックを解除するときだけでなくパソコンを起動するときや省電力状態から復帰するときにもWindowsログオンパスワードの入力が必要になります。
また、パスワード入力の手間を省くためには、FeliCa 対応ソフト「シングルログオン」の併用をおすすめします。登録した FeliCa 対応カードをかざすことで、Windowsログオンできるようになります。
詳しい操作方法については、「シングルログオン」のヘルプを参照してください。

●カードフォルダーを使う

同じ FeliCa 対応カードを何度も続けて読み書きするときは、カードフォルダーを使って、カードを固定しておくと便利です。

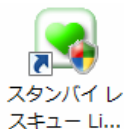
チェック!!

FeliCa 対応カードを「FeliCa ポート」に固定せず、かざして利用する際は、カードフォルダーを取り外してください。

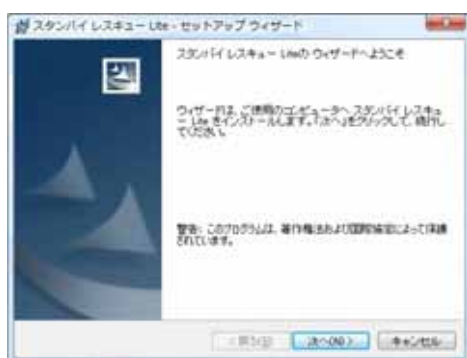
◎「スタンバイ　レスキュー　Lite」について

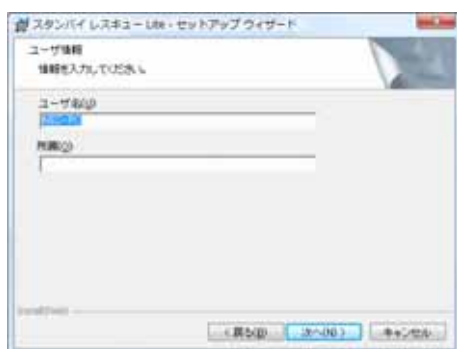
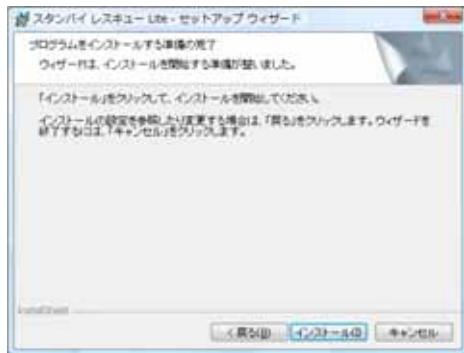
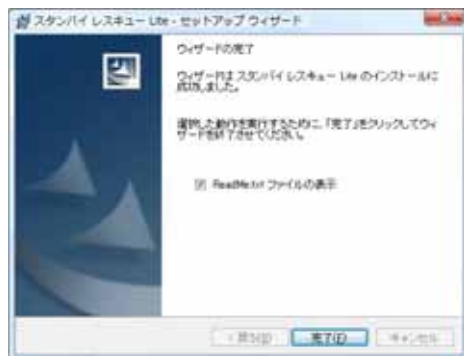
本製品には、パソコンが正常に起動しなくなったときに、あらかじめコピーしておいたシステムエリアからパソコンを起動することができるアプリケーション、「スタンバイ　レスキュー　Lite」が搭載されています。

■「スタンバイ　レスキュー　Lite」のセットアップ

「スタンバイ　レスキュー　Lite」をお使いになる場合、まずは以下の手順で「スタンバイ　レスキュー　Lite」をセットアップしてください。

1　デスクトップの「スタンバイ　レスキュー　Lite のセットアップ」アイコンをダブルクリックする

2　「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」ボタンをクリックする

3　「スタンバイ　レスキュー　Lite のウィザードへようこそ」画面で、「次へ」ボタンをクリックする

4　「使用許諾契約」画面で使用許諾書の内容を確認のうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

5　「ユーザ情報」画面で、必要に応じて「ユーザ名」・「所属」を入力し、「次へ」ボタンをクリック

6 「プログラムをインストールする準備の完了」画面で「インストール」ボタンをクリック

7 「ウィザードの完了」画面で、「完了」ボタンをクリック

8 「ReadMe.txt ファイルの表示」にチェックが付いている場合は、「完了」ボタンをクリック後に ReadMe.txt が表示されるので、内容を確認のうえ、画面右上の「×」ボタンをクリック

以上で「スタンバイ レスキュー Lite」のセットアップは完了です。

■「スタンバイ レスキュー Lite」の使用方法

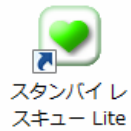
「スタンバイ レスキュー Lite」を使用するには、システムを保護するための領域（スタンバイエリア）にデータのコピー/更新を行う必要があります。以下の手順でスタンバイエリアへのデータのコピー/更新を行ってください（作業時間は出荷時の状態で約 1 時間）。

・ご注意

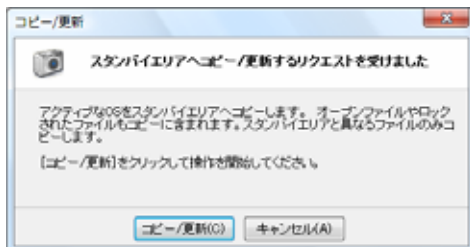
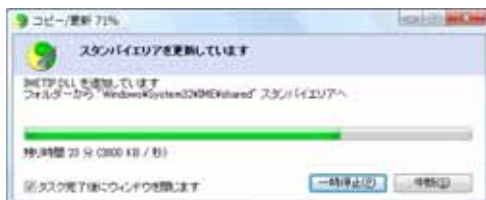
C ドライブには、バックアップを取るデータと同量の空き領域が必要になります。

バックアップに必要な領域は、「操作」をクリックして表示される一覧の中の「使用領域の計算」をクリックすると確認できます。使用領域が足りない場合は、C ドライブの不要なデータを削除してください。

どうしても C ドライブの空き領域を増やせない場合は、「共通アイテム」を設定することで、設定したフォルダ/ファイルをバックアップ対象から外すことができます。ただし、共通アイテムに設定したファイルに障害が起こった場合、共通アイテムのデータはバックアップされていないため復旧の対象にはなりませんのでご注意ください。

1　デスクトップの「スタンバイ　レスキュー　Lite」アイコンをダブルクリックするか、「スタート」-「すべてのプログラム」-「スタンバイ　レスキュー　Lite」-「スタンバイ　レスキュー　Lite」をクリック

2　「はじめに」画面で「はい」をクリック

「はじめに」画面が表示されず、「スタンバイ　レスキュー　Lite」画面が表示された場合は、「コピー/更新」ボタンを押してください。

3　「スタンバイエリアへコピー/更新するリクエストを受けました」画面で「コピー/更新」ボタンをクリック

「コピー/更新」ボタンを押すと、以下の「スタンバイエリアを更新しています」画面が表示されます。コピー/更新が終了するまでそのまま電源を切らずにお待ちください。

コピー/更新が終了すると、自動的に「スタンバイエリアを更新しています」画面が終了し、「スタンバイ　レスキュー　Lite」画面の「レスキュー起動日時」、「ボリューム更新日時」が変更されます。

以上でスタンバイエリアのコピー/更新は終了です。

■スタンバイエリアからの起動

「スタンバイ　レスキュー　Lite」のコピー/更新が完了していると、パソコンが正常に起動しなくなったとき、以下の手順でスタンバイエリアから Windows を起動することができます。

・**本機の電源が入っている（Windows が起動している）場合**

「スタンバイ　レスキュー　Lite」の「操作メニュー」-「今すぐレスキュー起動」をクリックする

・**本機の電源が切れている状態**

パソコンの電源を入れてしばらくして、「スタンバイエリアから起動を行うには F1 キーを押してください」と表示されている間に、キーボードの【F1】キー（ハートマークのキー）を押すと、「スタンバイエリアから起動してもよろしいですか？はい（Y）/いいえ（N）」と表示されるのでキーボードの【Y】キーを押す